

エンジニア製品の小ロット受託製造を行っている日本コムテック

たを振り返る。だが、にみる見込みだ。あらためて仕組みを聞く

# 医療分野で産学官連携

## 機器・サービスの有効性実証

21.11.23

【高松】四国経済産業局は、地域医療の高度化や個人の健康維持を支援することを旨とした産学官連携の取り組み「ヘル・スクエア・イノベーション・フォーラム」を立ち上げ、実用的なプラットフォームを構築する。健康

野での新産業創出や社会的課題の解決を目指す。こうした健康・医療面の活用を進める産学官連携の組織づくりは珍しいという。同フォーラムの事務局は香川大学瀬戸内圏研究センターに置き、座長は同センターの原量宏特任教授が務める。参加企業は医療関連プロゲラムを手がけるミトラ（高松市）や四国電力グループで情報通信を扱うSTNet（同）、検査装置を製造するエコーコーポレーション（徳島県吉野川市）などの22社。四国内企業に加え、富士通などの大手企業も参画する。

高松市役所が身分証に高松琴平電気鉄道（高松市）のICカード乗車券「Iruca（イルカ）」を導入するなど交通カードの多機能化で街の活性化につながる動きが目立つ。同フォーラムの創設は、香川県内の医療機関などでイルカを診察券代わりにすることや個人の

独立開業貸付申請に必要な主な書類

医療データを管理する「生涯健康カルテ」のネットワーク構想を加速させる狙いもある。

今後は年2回の割合で総会を開くことにも、2

かきなどを客観的に判断できるように記述するの近づける。

生利用化の製造など業者が対面者の人件額の半とが条件委託費

り年60で、今年年度途中月程度と

は12月21

わせば商

戦略課（

・219

◆農商

中小企

中部支

から名古

インクあ

連携フ

in中部

地域の農

業者など

ヤーナリ

氏が「農

の融合が

えるイン

マに講演

事例紹介

加無料。

申し込

で。問

ラム事務

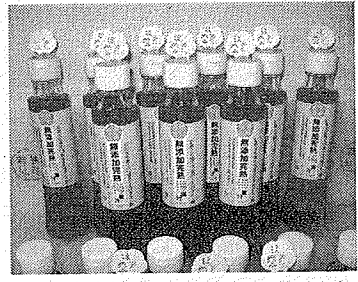
01・6

# 農工商連携の今

★22★

福井県の若狭地方は梅の産地。この中でも栽培が盛んな若狭町では「紅映梅（べにさしうめ）」と呼ばれる品種を中心に生産している。種が小さく、果肉が多く、果皮も柔らかいという特徴がある。古くから梅干し用などとして味が評価されてきた。この名産を武器に、地域の異業種が手を携え、新たな取り組みを始めた。新規需要掘り起こしによる地域農業の活性化や、地域ブランドの確立を

## 梅から果汁・調味料開発



映梅の果汁100%の「無添加完熟梅果汁」や「梅昆布ポン酢」など5種類。「若狭紅映FUMELY（フーメリ）FOOD」をブランドで展開する。

傷がついた梅や規格外の梅を地元農家から買い取り、有効活用する。初年度は原料約20トンを確保した。従来、梅の加工品は梅干しと梅酒がほとんどで「新たなジャンルの市場を創造するのが狙いだ」。

若狭町産紅映梅から作る梅果汁

紅映梅は名の通り、太陽

低温酵素分解技術で抽出し、クエン酸やミネラルを多く含む。健康や食の安全を重視する30-40代の女性にターゲットを絞る。

現在、福井県内の土産物店などで販売。健康食品メーカーへの果汁の供給やOEM（相手先ブランド）生産も始めた。今後は百貨店などにも出荷する計画で、ギフト市場も開拓する。商品拡充などにより、事業全体で2-3年後に年間2億円規模の売り上げを目指す。

参加するのはJAPANブランド育成支援事業に取組む北は小樽商工会議所（カラシ製品）から南は伊江村商工会（鴨）まで全国26プロジェクト。フェリシモデザインハウスで実施するのは今年1月から同5月に次

日本商工会議所と全国商工会連合会は23日から12月24日まで1カ月間にわたり米ニューヨークのフェリシモデザインハウスを会場に「JAPANブランドNYテストマーケティング事業」を行う。最も消費が活発となるホリデーシーズンを狙って、ギフト需要も視野に入れたマーケティングを展開する。

ニューヨークで市場調査

日本ブランド育成

日商と全商連

## 中小政策

トとKYで  
映像研  
http://www.avisth.org/

# 自動旋盤、中国で増強

モデル「Nシリーズ」を追加。部材の現地調達比率も高めることで、従来の低価格機からさらに2割程度安く見通す。価格競争力を高める。

潮目が変わってきた。西嶋尚生ツガミ社長として。成長市場を巡り、欧州勢、韓国、台湾などのアジア勢力を高める。競争も熾烈になってお

# 柔飲物、瞬時に創